

令和7年度 今治市立図書館 指定管理者モニタリング結果

施設名	今治市立中央図書館、今治市立波方図書館、今治市立大西図書館、今治市立大三島図書館
所在地	今治市常盤町5丁目203番地2、今治市波方町樋口甲72番地の1、今治市大西町宮脇甲506番地の1、今治市大三島町宮浦5713番地
指定管理者	名 称 T R C 今治図書館サポート 代表者 株式会社図書館流通センター 代表取締役 菅野 耕一 四国通建株式会社 代表取締役 高木 康弘 所在地 東京都文京区大塚三丁目1番1号 今治市南大門町一丁目1番地の15
モニタリングの実施方針・方法等	本施設の管理運営業務の確認にあたっては、管理運営状況を事業報告書、実地調査、利用者アンケート、指定管理者へのヒアリング等により把握しました。 その後、指定管理業務の課題ごとに、指定管理者による自己評価及び市による評価結果を取りまとめました。
担当部課 (問合せ先)	今治市教育委員会事務局 教育政策局 生涯学習課 T E L : 0 8 9 8 - 3 6 - 1 6 0 2 E - m a i l : sgakusyuu@imabari-city.jp

評価内容

課題	指定管理者自己評価		市による評価	
総則	A	施設の目的や基本方針から外れることなく運営を行いました。また、今年度は全館で「いまばり図書館フェスタ」への協力を行い、多くの市民に図書館の認知度を高めました。それを含めて、地域との連携を積極的に行い、多くのイベント等を開催し利用促進に努めました。	B	条例、規則、仕様書など、関係法令に関する一定理解があり、おおむね支障なく図書館運営を行うことができた。
利用状況	B	来館者数は、多くの多彩なイベントの開催などで、全館合計で目標を達成し、前年比でもプラスになりましたが、貸出数に関しては、中央を除く他の館は目標を達成できませんでした。中央以外の館の状況分析を今後行っていきます。	C	来館者数については、中央、大三島図書館で目標達成、波方、大西、移動図書館では目標未達成であった。 貸出点数については、中央図書館で目標達成、波方、大西大三島、移動図書館で目標未達成であった。 現状分析を行い、選書方針の検討、レファレンス対応、イベント企画、告知方法など、これまで以上に効果的な取り組みを検討されたい。
事業収支	A	入出金に関するトラブルもなく適切に運用しました。予算については、今年度も光熱費の負担が大きいですが、ほぼ予算通りに執行しました。図書館資料購入費も指定額の執行残が発生しないよう資料を購入しました。	B	会計帳簿及び関係資料は適切に処理されている。 図書館資料購入費との会計区別も明確にされている。
管理運営体制	A	奉仕業務・管理業務とも適切な配置を行い運営を行いました。また勤務日数、勤務時間も適切に管理をしています。今年度は退職者や、病気休職のスタッフがでましたが、全館でサポートを行い利用者に不便をおかけする事はありませんでした。研修に関しては、webでの社内研修を必須として全員が参加をしました。その他社外研修にも積極的に参加をしスタッフのスキル向上に努めました。	B	就業規則に、司書資格についての奨励制度があり、過半数が有資格者である。 社員全員が年1回以上社内研修を受講している。 令和7年度の市民アンケートでは、職員対応の満足度は76.2%であった。 2週間毎に各館責任者会を行い、4館全体での情報共有を図っている。
管理運営業務	A	基本管理業務に加え、教育的事業・奉仕団体教育的事業や移動図書館の運行も適切に行いました。さらに移動図書館車は、イオンモールでのおしごと体験やFC今治のホームゲームに参加しました。	B	管理運営業務全般において、仕様書に定められた水準を満たしている。 AED研修を社内で開催するなど、安心・安全な読書環境を整えることができた。 島嶼部支所と連携を図りながら、島嶼部窓口運営の中核を担うことができた。

課題	指定管理者自己評価		市による評価	
利用業務	B	来館者については、トータルでは目標を達成することができましたが、貸出数に関しては、中央を除く他の館で目標を下回りました。 来館者に関してはイベント効果により一定の数字を維持できましたが、残念ながら貸出には連動できなかったと分析しています。	B	困難事例に対し、警察と連携しながら、毅然とした対応を行うことができた。 利用告知については、SNSや記者クラブへの情報提供など積極的な姿勢が見られた。 来館者数や貸出点数の結果については、原因結果を分析し、次の取り組みに繋がりたい。
その他業務	A	実施計画に基づき、適切に対応・実施を行いました。 特に選挙会場になる大西図書館では、選挙投票日は自治体からの要請により臨時休館としましたが、利用者に混乱のないように適切に対応しました。	B	危機管理マニュアル、個人情報マニュアル、緊急連絡網等が整備されており、さらに、これらマニュアルに基づいた訓練を行うことができた。 駐車場混雑時には、駐車場整理係を増員するなど、駐車場の安全確保に努めることができた。
修繕業務	A	専門技術者のもとに適正に管理を行いました。経年劣化による施設の不具合が多く発生していますが、常に自治体との協議を行いながら、安全対策を優先して修繕を実施しました。	B	応急的な修繕については対応できている。それ以外の修繕についても、計画性を持って遂行されたい。 50万円以上の案件に関しては、市の予算要求に間に合うよう協議を行うこと。 保守点検結果を分析し、必要箇所は先行的に対応すること。
備品管理業務	A	今期も、破損したものや必要とされるものを購入しました。また、備品管理も適切に行いました。	B	市の貸与備品については、備品台帳を整備し、異動があれば、その都度、市と協議を行い、所定様式にて報告すること。（仕様書第5-1-(8)） 備品取得については、紙芝居台やキッズカートなど、利用促進効果が期待できるものを装備できた。
行政財産の目的外使用許可 手続業務	A	中央館と波方館における自動販売機の設置を継続し、夏場猛暑が続くなか、館内での貴重な水分補給という場を提供しました。中央館における「ぶっくんのおみせ」では図書館ならではの、装備に使うフィルムコートの需要が多くありました。	B	行政財産の目的外使用については、適正な事務の遂行がなされている。 収益についても適切な経理がなされ、全ての金額が施設運営費に充当されている。

課題	指定管理者自己評価		市による評価	
自主事業	A	今年度も、積極的に自主事業を実施しました。地場産業の記録として「タオルびと制作プロジェクト」もHPを通じて継続、同じく地場産業事業として「図書館ハローワーク」を開催し、今年度は大島石組合の協力のもと大島石に焦点を充てました。中央の読書講演会では、千早茜氏をお迎えし高校生によるビブリオバトルを開催、波方では読書講演会として人気作家の京極夏彦氏をお迎えし作品についての魅力をお話いただきました。大西では、郷土行事の「たのもさんづくり」や大三島では、ショートショート作家の田丸雅智氏の「ショートショートの書き方講座」を開催しました。その他にも、岡山理科大とのコラボ企画「今治サイエンスクラブ」やFC今治の常設コーナーの継続、イオンモール今治新都市では、読み聞かせや、お仕事体験を実施しました。電子図書館の一層の普及のために、自治体の協力のもと、市内小中の児童・生徒に電子図書館のIDを付与していますが認知されてきました。また、HPから中央図書館の様子がわかる「バーチャル図書館」の継続やSNSを使った広報を積極的に行い、図書館で実施しているイベントやむ展示企画などの発信を行いました。今年度も多くの新聞等にイベントや企画が掲載され今治市立図書館の広報に繋がりました。	A	「ドリームマンデーアットザ・今治市立図書館」、「キッズゲルニカin今治市立中央図書館」、読書講演会(講師：京極夏彦氏)、高校生ビブリオバトル(講師：千早茜氏)など、4館合計485回の斬新かつ話題性豊富な自主事業を行い、さらには32件のパブリシティ成果を上げ、今治市における文化発展はもとより、情報発信力強化にも大きく貢献した。
地域団体との連携	B	「タオルびと制作プロジェクト」では、引き続き城西大学を通じて、今治のタオル関連の協力のもと公開を続けました。今治史談会とは、引き続き「国府叢書」の後半部の出版化の協力を続けています。大島石協同組合の協力を得て、「図書館ハローワーク」を開催しました。岡山理科大とは、「今治サイエンスクラブ」をコラボで、他 FC今治やイオンモール今治新都市・波方海上技術短期大学との連携を行い事業を実施しました。また、地域ボランティア団体とも良好な関係を続けて協力をいただいております。	B	今治市と連携し、講座や企画展、パンフレット配布などを通じて、行政情報の発信に努めた。 市内小中学校と連携し、夏休み宿題おたすけ教室や職業体験などを実施した。 大島石協同組合、FC今治、岡山理科大、よみきかせサークルなど、多方面に渡り地域団体と協働できた。

利用者アンケート	A	今年度も「来館者アンケート」を実施しました。回収数も900人あまりの方に協力をいただきました。また今回初めてwebアンケートも実施し今後のアンケートの取り方も検討していきます。 アンケート結果をみて現状での利用者の分析ができました。このアンケートを通して今後のサービスの参考にいたします。	B	今年度のアンケートについては、従来の紙面でのアンケートに加え、WEB版アンケートを併用した。 回答数は、令和6年度は1,308件、令和7年度は916件と大きく減少した。 アンケート結果を分析し、年代別利用者の平準化、レファレンスサービスや電子サービスの拡充、イベント満足度の向上などに努められたい。
課題	指定管理者自己評価		市による評価	
事故・苦情	A	利用者からのご意見に関しては「ご意見箱」を設置し、すべてのご意見に対する回答を常時閲覧できるようにしています。また、直接いただいた苦情などは、自治体への報告はもちろん、責任者から一般スタッフまで速やかに共有しています。	A	「ご意見箱」を設置し、利用者が、いつでも意見できる環境を整えている。 意見内容は、スタッフ全員で共有し、改善策を検討している。 作成した回答は、館内で閲覧できるようにしている。
指定管理者の経営状態			提出された決算関係書類や過去年5年間の「貸借対照表」、「損益計算書」をもとに「経営分析指標」を算出したところ、収益性、安全性、効率性、成長性の各項目とも特に問題となる項目もなく、概ね良好であると判断する。	

総 合 コ メ ン ト （市）
令和7年度は、条例、規則、仕様書など、関係法令に基づき、概ね問題なく指定管理業務を遂行することができました。 また、自主事業として、「ドリームマンデーアット・ザ・今治市立図書館」、「キッズゲルニカin今治市立中央図書館」、読書講演会、高校生ビブリオバトルなど、斬新かつ話題性豊富なイベントを数多く実施し、今治市における文化発展に大きく貢献しました。 引き続き、今治市立図書館の利用促進はもとより、今治市における読書活動の推進に取り組んでいただくようお願いします。